

ステンレス製品のお手入れ

お手入れ

ステンレスは定期的にお手入れをする必要があります。特に工場地帯で煤や鉄粉が付着しやすい場所や、海岸が近く潮風にさらされる場所ではお手入れをおこたるとサビを誘発し、“もらいサビ”を起こします。また、錠前その他部品に影響を与え故障の原因にもなります。一般の場所であっても常に清浄を保つよう、定期的なお手入れが必要です。

【製品外部】

柔らかい布で拭き掃除してください。汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。その後、から拭きして水分を完全に取り除いてください。ベンジン、シンナー、みがき粉、タワシなどを使って清掃することはお避けください。変色、キズ、塗装ハクリの原因となります。

【製品内部】

柔らかい布で拭き掃除してください。その際に微細な研磨粉により布が黒ずむ場合がありますが、人体に影響を及ぼすものではありません。



●清掃回数の目安

(1年あたりの回数)

材質 \ 環境	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
ステンレス (素地)	10～20	6～10	4～8	2～4

！ 注意 海岸地帯、工業地帯などの環境では比較的早くサビが発生し、台風通過時には内陸部まで海岸地帯同様の塩害が発生することがあります。このような場合は、サビが発生する前にこまめにお手入れ（清掃）する必要があります。

！ 注意 製品の細部までお手入れされる場合は、板金製のため手を切る恐れがありますので、必ずゴム手袋などで手を保護するようにしてください。

ステンレスの特性

ステンレスは英語名でStainless Steelと表記され、直訳すると「ステンレス鋼」となり、これが日本での正式名称です。ステンレス鋼は含有されるクロム（Cr）が酸素と結びつき、表面に自己再生可能な薄く緻密な保護被膜（酸化被膜）を形成し、この保護被膜が外部の腐食要因から保護します。

ステンレス製品のサビについて

ステンレスが腐食に対して強いのは、表面に独特の保護皮膜が形成されるからです。この皮膜は空気中の酸素が触れている間は優れた耐食性を示す性質を持っていますが、ステンレスの表面が汚れてくると、酸素との接触が妨げられるのでサビが発生することがあります。従って、ステンレスは決して「サビない」ものではなく、むしろ「サビにくい」金属と言えます。一旦発生したサビは落とすことが難しいので、ステンレスの汚れに注意して日頃からこまめにお手入れをしてください。サビの発生を防ぐことができます。

塩害について

近年、塩害による被害が多く報告されています。塩害とは、塩分を含む風や雨・汚れなどが金属に付着することにより、腐食によって錆が発生する被害のことです。このような塩害被害は、一般的には塩害地域と呼ばれる海沿いの地域で多く発生しますが、海岸からの距離以外に風向き・強さなどの地域性および周囲の地形や建物の配置などの立地条件にも影響を受けるため、海岸線から遠く離れた内陸部にもその影響が及ぶことがあります。以上のことから、商品選定の際には、既存の周辺諸設備の発錆状況なども十分考慮していただくことを推奨します。

ステンレス／内・外装の汚れとサビ

●建物の環境によるもの

- ・道路工事や建設工事の際、飛散する土砂、ほこり、鉄粉などの付着による汚れ
- ・汽車、電車の制動時に発生する鉄粉の付着による汚れ
- ・自動車やバスの排気ガス中に含まれる亜硫酸ガスなどの汚れ
- ・工場、ゴミ焼却場、下水処理場、ビルの冷暖房設備などから発生する煤煙や亜硫酸ガスによる汚れ
- ・海岸地帯の潮風や塩分を含んだ雨水の影響による赤サビ
- ・温泉地帯で発生する各種ガスによる汚染

●汚れの原因となる付着物

- ・鉄粉や塩分の付着物
- ・指紋のあと
- ・油脂類、セメントなどの付着
- ・表面保護用粘着フィルムののり転着物
- ・各種清掃薬液のたれあと